



# ほけんだより

23年度10月号  
明照保育園



## 【子どもの健康状態】

朝夕が涼しくなり、日中との気温差がはげしく体調を崩しやすいこの時期、乳児さんで発熱による欠席が多くありました。感染症の報告として、幼児クラスで溶連菌感染症、乳児クラスでRSウイルス感染症がでています。

## 【尿検査があります】

★二次検査・・・10/12(水)配布  
/13(木)回収

※13日の朝いちばんの尿をとって提出して下さい。

一次検査で未提出だった子と再検査が必要な子のみ個別にお知らせします。  
個別にお知らせがない子は陰性です。



一次検査で未提出だった子は、今回の二次検査も提出できなかった場合、個人で医療機関にて検査し、結果を園まで報告してもらうことになりますので、必ず提出するようお願いします。(オムツをしている乳児さんについては、ラップにのせた脱脂綿をオムツに入れて、染み込んだ尿を搾る方法もありますのでご相談下さい。)

又、容器等をなくされた方は担任に申し出て下さればお渡します(容器代を頂くこともあります)。その際、必ず袋にクラス・番号・名前を明記して下さい。



## 【内科健診について】

★内科健診(2回目) 全員受診します

10/19(水) 13:30~ 月組・星組

10/26(水) 13:30~ 花組・雪組・赤組

※背中や皮膚の状態をしっかりと診てもらえるよう、髪の毛の長い子は2つに分けて結んでください。

## 【溶連菌感染症】

★原因・症状★

A群β溶連菌という細菌が原因となる病気です。高熱やのどの痛み、はれ、嘔吐、頭痛などの症状があらわれます。また、細かく赤い発疹が体に出たり、舌に赤いブツブツが出たりします。

★治療★

抗生物質を使います。薬は後遺症(急性腎炎、リュウマチ熱)を予防するために定められた期間飲みます。治療開始後24時間をすぎた場合、医師の診断のもと全身の症状がよければ登園して差し支えありません。

## 【RS(アールエス)ウイルス感染症】

RSウイルスによる感染症で、冬期に乳児を中心に流行する急性呼吸器疾患です。毎年流行する感染症ですが、この冬場は特にここ3年間で最も感染する人が多くなっていて、流行もしばらく続くことが予想されます。(豊橋市保育課より)

◎まずは予防から・・・ウイルスに対するワクチンがないので予防が第一です!!

うがい・手洗いをしましょう。

◎かかってしまったら・・・まずは受診して悪化を防ぎましょう。風邪と同じように、水分・栄養・睡眠を十分にとり、温かくして安静を保ちましょう。

## 【うわぐつの使用について】\*\*\*月・花・星組対象

夏の間、園児たちは、はだし保育を行ってきました。はだしになることはいろいろな利点があり、たとえば足の裏のたくさんの神経への刺激、平衡感覚、脳神経への刺激等々、特に乳幼児期の心身への発達には、はかりしれないものがあるようです。

ただ、気温も下がり素足であることへの抵抗を感じる季節を迎えるにあたり、11月中旬より室内でうわぐつを使用しても良いことにしたいと思います。子どもさんの状況に合わせてご用意下さい。

※保育園でも“あしゆび健康シューズ”(後日チラシ配付)の注文を受け付けます。

発注の関係上10/28(金)朝までに代金を添えて所定の用紙で申し込んで下さい。サイズ見本を、星組ホールに出します。

※月・花組さんは、お手持ちのうわぐつの記名とサイズの確認をして下さい。

# かせから子どもを守る 予防対策

かせだけでなく、インフルエンザやその他の感染症に対する予防になります。家族みんなで心がけましょう。

★睡眠を十分とりましょう

★人ごみをさげましょう

★規則正しい食生活をしましょう

★外で元気に遊びましょう

★部屋を乾燥させないようにしましょう

## 【おわりに】

衣替えのこの時期、朝夕は涼しくても日中は「まだ暑いなあ」と感じる日が続きます。気温の差を考えながら、子どもの衣服を調節していきましょう。また、みんな頑張った運動会も終わり、疲れが出て風邪をひきやすくなります。家族みんなで予防を心がけましょう。